

水道局 平成26年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

水道事業では、昭和40年代から50年代にかけて建設した多くの施設の老朽化が進み、この老朽施設の大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズを反映したサービスの向上も必要となっています。

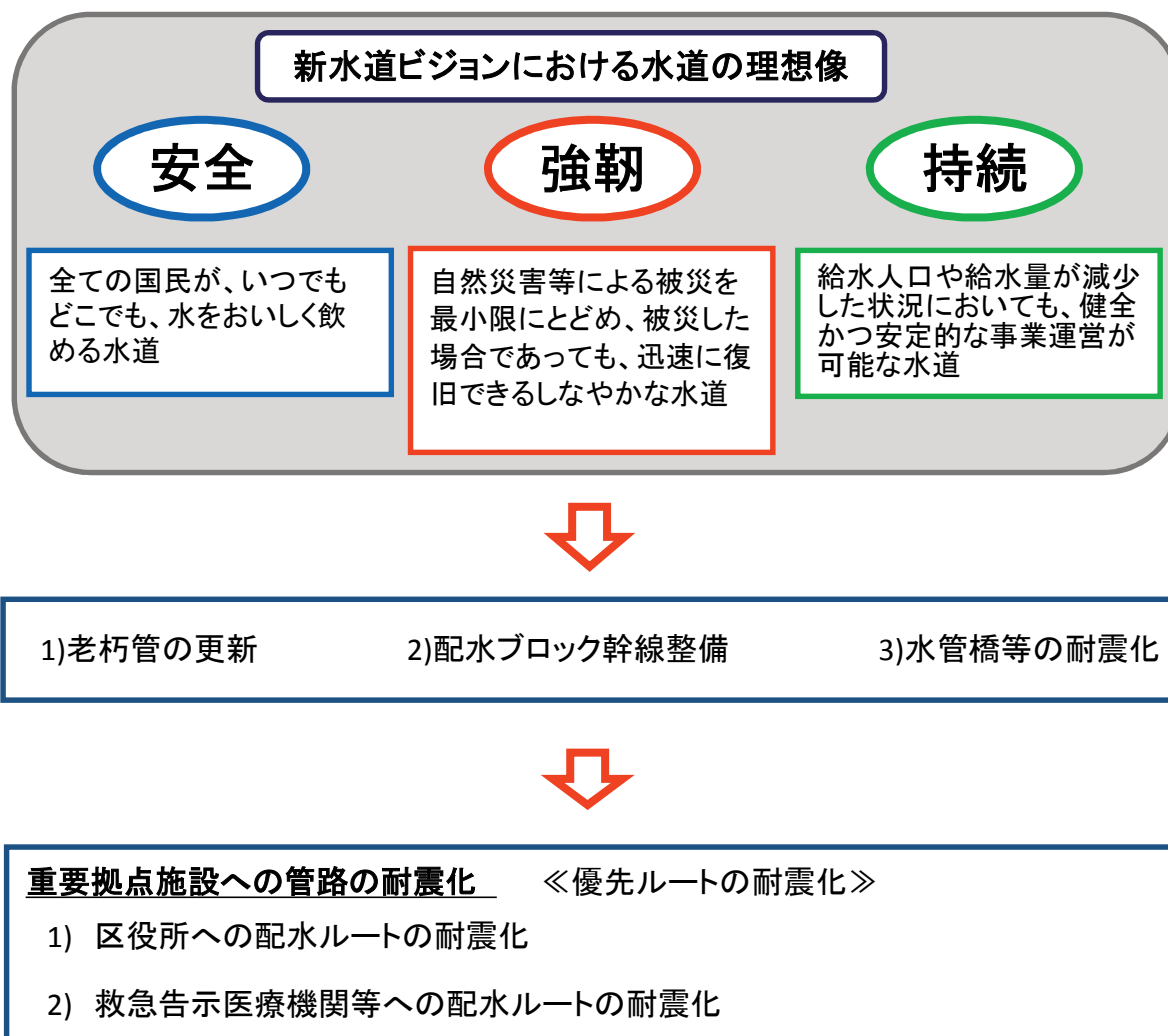
一方、これら事業の財源となる水道料金収入は近年減少傾向にあり、財源の確保が課題となっています。

このような状況から、現行水道料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、平成22年度に策定した「さいたま市水道事業中期経営計画(平成23年度～27年度)」に基づき、効率的な事業運営に努めています。

(1) 水道施設の改良・更新

時代や環境の大きな変化に対応するため、厚生労働省では平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定し、「安全な水道」、「強靱な水道」、「水道サービスの持続」を理想像として水道事業の目指すべき方向性を示しています。

水道局では、これまでの老朽管の更新(耐震化)に併せて、「強靱」な水道を築くため、大規模災害時の医療救護の拠点となる区役所と救急告示医療機関等を重要拠点施設と位置付け、配水ルートの耐震化を優先的に進めていきます。



2. 基本方針・区分別主要事業

安心安全な水道水を安定して供給するため、既存施設の計画的、効率的な改良更新を行うとともに、湧水や地震等災害時においても、信頼性の高い水道を目指します。
また、水道に対する多様化するニーズを反映した、質の高いサービスを提供します。

(1) 水道施設の改良・更新とともに、耐震化を進めます。

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1		水道施設整備事業 〔水道計画課〕	8,573,323	8,693,374	水の安定的な供給を図るための施設整備の推進